

2024年度下半期の活動報告と2025年度の主な予定について ～浄土真宗本願寺派 築地本願寺からのお知らせ～

2024年度下半期(2024年9月～2025年3月)は、訪日外国人旅行者数が2024年は過去最高の約3600万人(日本政府観光局の推計値)だったこともあり、築地の街は常に大賑わいでした。おかげさまで外国人観光客を含め、築地本願寺の境内や本堂にも多数のご参拝者がお越しになりました。ここに2024年度下半期の活動報告と2025年度上半期に予定されている主な行事などをご報告いたします。

■新宗務長からのご挨拶

今年の1月に新宗務長として就任しました奇山明憲(はやまみょうけん)です。大阪・高槻市で長い間、住職をやっていました。過去に浄土真宗本願寺派の仕事として学事部長(宗門校の管理)や京都教区教務所での勤務経験はありますが、東京にはこれまでご縁がなく、このたび築地本願寺の宗務長へお声がけ頂いたことは大きな驚きでした。しかし、家族や自坊のご門徒の皆さまとも相談し、「やってみたら」と温かい後押しを頂いたこともあり、謹んでお受けしました。着任後ようやく一か月が過ぎたところで、まだ東京の街を巡る機会はできていません。しかし、すぐ隣の築地の場外市場はいつも多数の観光客でにぎわい、築地本願寺にも立ち寄ってくださる方も多く、東京の活気を感じています。

今後、私が行うべきこととしては、現在進行中の築地本願寺の保存修理工事(修理や補修、耐震補強工事等)、新たなパイプオルガンの設置などの事業が挙げられます。また、仏教にご縁の薄い方や若い方々を含め、一人でも多くの方に築地本願寺に足をお運びいただけるような、機会や催事を考えたいと思っております。私が幼少時に築地本願寺に来たときに「ここは日本ではないのでは?」と思ったほど、築地本願寺は特徴的な形の大きなお寺です。しかし独特な建物であろうと、東京という大都市のお寺であろうと、『親鸞聖人のご門徒をお預かりする』ということに築地本願寺も他のお寺も何の違いもありません。

昨今、「生きづらい」と感じている人が多いということ調査などで目にします。現代社会の中で、私たちは便利さや物事の素早さに慣れすぎてしまい、古き良きつながりを失っているのではないのでしょうか。人と関わって生きるうえでは、しんどいこと、つらいこと、いやなことはたくさんあります。しかし「生きる」ということは、けっして自分独りだけで出来ることではなく、周りにいる人たちに支えられて初めて成り立っています。そんな時に、自分が人の支えで暮らしていることを思い出してくださるといいなと思います。



お寺は、決して敷居が高いところではありません。築地本願寺にはどなたでもお入りになれますし、本堂にはご自由に座れ、お参りしていただけるあなたの椅子席があります。ぜひ一度足をお運びになり、のんびり過ごしてみてください。また私を見かけた際は、遠慮なく話しかけてください。皆さまとのご縁を楽しみにしています。

2024年度下半期（10月～3月）の活動報告

◆銅板懇志額での合計総額が75,170,000円となりました

築地本願寺本堂屋根の修復工事を実施するにあたり、銅板懇志※をみなさまより募集いたしました。

ここに、これまでの懇志総額と総件数をご報告いたします。

みなさまからの温かいご支援とご協力に厚く御礼申し上げます。

●銅板懇志総額 75,170,000円
 受付期間 2024年8月27日～12月26日
 お申込み件数 2,806件

※銅板懇志とは、築地本願寺本堂屋根の修復工事では、今ある屋根を外さずに新たに銅板で屋根を作り、かぶせるように設置します。新たに設置する屋根は、およそ35～40センチメートル四方の銅板を加工し、組み合わせて作成いたします。この一枚一枚の裏面に当たる部分に、ご寄進いただいた方のお名前を記させていただくものです。

◆本堂ほか4基建造物保存修理工事を行っています

築地本願寺は鉄骨鉄筋コンクリート造の建物で、創建より90年が経過しており、各所で老朽化が進んでいます。そのため現在、耐震補強工事やトイレの改修、エレベーターの設置などを行っております。ご来院の際に騒音や通路規制等でご迷惑をおかけする可能性があります。

なお完成は、2026年12月頃を予定しています。

騒音や振動等、工事の影響を最小限とするよう努めてまいりますので、ご理解の程、お願い申し上げます。



◆除夜会・除夜のつどい・元旦会

年末年始の恒例である行事を本年も開催しました。除夜のつどいでは、境内に設置した「除夜の鐘」をついていただいたり、年末の牛乳の消費拡大を目的としてJA全農さまよりご提供いただいた、ホットミルクとコーンスープを今年も無料でお配りしました。本堂内では、パイプオルガンコンサートや僧侶によるなんでも相談コーナー、中尾史峰前宗務長による「新年の書」の発表も実施し、多くの方がご参拝されました。それ以外に、境内での焚火や、昨年の感謝や今年

の抱負を阿弥陀さまに自分の大きな声で伝え、気持ちを解放できる防音ブース「感謝之心奉納箱」を設置しました。

また、元旦会では、宗務長導師のもと、「正信念仏偈作法（第二種）」を修行した後、宗務長より新年の挨拶がありました。

除夜会・元旦会の両日で約2万人が参拝されました。



築地本願寺 今後の予定

- 4月
4月5日 はなまつり
4月6日 はなまつり 於：和田堀分院(杉並区)
- 5月
5月21日 降誕会
- 6月
6月7日 合同墓納骨者総追悼法要
- 7月
7月13日-16日 盂蘭盆会
7月下旬 - 8月上旬 築地本願寺納涼盆踊り大会
- 8月
8月13日 - 16日 盂蘭盆会(旧盆)
- 9月
9月17日 へいわフォーラム2025
9月18日 千鳥ヶ淵戦没者追悼法要
9月20日-26日 彼岸会 (秋)



彼岸会の様子

※各スケジュールの詳細については築地本願寺公式HPをご参照ください

浄土真宗本願寺派 築地本願寺について

築地本願寺は、京都の本願寺(西本願寺)を本山とする浄土真宗本願寺派の寺院です。現在の本堂は1934年に落成。オリエンタルな雰囲気をもつ外観と、浄土真宗寺院の伝統的な造りの内観、さらにパイプオルガンやシャンデリア、ステンドグラスもあるユニークな礼拝施設です。本堂や正門などは2014年に国の重要文化財に指定されました。

“開かれたお寺”のスローガンのもと、誰もが入りやすく、親しめる場所をめざして、境内にカフェ・ショップなどが入ったインフォメーションセンターもあります。

また公式SNSでの発信や、YouTubeチャンネルに法話をのせるなど、いつでもどこからでも築地本願寺や教えにふれて頂ける機会を多数設けていますので、ぜひ一度HPをご覧ください。



本堂外観

公式SNSも日々更新中！



●取材に関する問い合わせ

浄土真宗本願寺派築地本願寺 広報担当：小野・二木（ふたつぎ）

メールアドレス：koho@tsukijihongwanji.jp

電話：0120-792-048(築地本願寺コンタクトセンター 全日：9時-17時)

FAX：03-3541-7071

東京都中央区築地3-15-1